

南部中学校区

南部中 流山小 流山北小

- ・小学校へ出前授業の実施（英語・数学・理科・社会）
- ・あいさつ運動等で、児童会役員、生徒会役員の交流会
- ・小学生が南部中で授業参観、清掃、給食時間、部活動見学実施
- ・流小と流山北小の6年生の交流会

常盤松中学校区

常盤松中 八木北小 小山小

- ・運動会での応援メッセージ等で、生徒会、児童会の交流会
- ・生徒による授業サポート交流の実施
- ・同時期によるCG運動の実施
- ・中学校での部活動体験交流

北部中学校区

北部中 新川小 江戸川台小 西深井小

- ・校内研修会の相互参観
- ・小中学校職員によるレク大会の実施
- ・小中共通の学習規律や生活面を協議
- ・バスケットボール部の合同練習の実施

東部中学校区

東部中 向小金小 東小

- ・部活動における小学校との合同練習
- ・校内研修会の相互参観
- ・小学校での職場体験学習の実施
- ・小学生による“まち探検”で中学校を訪問

小中連携

今年度、
主に組んだ
内容だ

東深井中学校区

東深井中 東深井小 西深井小

- ・小中共通学習ガイドと生活ガイド作成
- ・部活動体験や交流会、理科科学工作教室への参加
- ・地域での合同除染作業
- ・安全指導（下校指導）について、同じ時間帯で実施

八木中学校区

八木中 八木南小 長崎小

- ・中学校職員が、小学校の部活動等への援助
- ・小学校での「かかしづくり」に中学生が参加
- ・中学3年生が、小学校への学習ボランティア派遣
- ・中学校の音楽担当者による小学生の指導

西初石中学校区

西初石中 西初石小 小山小

- ・西初石中の美術の教員が、西初石小で毎週授業を行っている。
- ・中学校で部活動交流会（ミニバス・吹奏楽部）
- ・運動会での小中メッセージ交換
- ・CG運動やあいさつ運動の同時期実施

南流山中学校区

南流山中 南流山小 鱈ヶ崎小

- ・児童会と生徒会の合同会議
- ・3校合同での「あいさつ運動」や「レク大会」
- ・3校合同あいさつ運動（2学期より毎月実施）
- ・中学教員が、南流山小・鱈ヶ崎小で算数の出張授業

「NIE・新聞の読み方・書き方」講座

昨年11月10日に、流山北小学校6年生対象に、NIE (Newspaper in Education) の学習のために、千葉日報社編集局次長兼編集委員の中元広之様を講師に招いてお話を聞きました。新聞作りの基礎(5W1H 結論

先の文体)を学び、知的好奇心旺盛な数々の質問に対して、さらさらと目、児童の資質をお褒めいただき、エールを送っていただきました。

そのときの様子が、千葉日報の11月15日付朝刊の「忙しん語」に記事として記載されました。

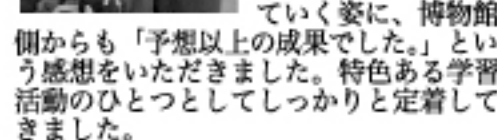


向っ子夢ミュージアム ~わくわく探検隊~によせて

向小金小学校は、国立科学博物館と連携し、「みつめる・しらべる・伝える一向っ子夢ミュージアムわくわく探検隊」を、2年間に渡り実践してきました。

「学習は、本物を見ることから始まる。」「五感で感じる事が大事。」の下、4年生が、地域の方々、保護者の方々のご協力を得て、年4回も訪問しました。

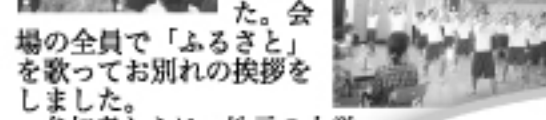
自分のテーマを決めて率先して調べあげ、意欲的に発表していく姿に、博物館側からも「予想以上の成果でした。」という感想をいただきました。特色ある学習活動のひとつとしてしっかりと定着してきました。



北部公民館でのいきいきさろん会との交流体験

10月12日、北部中学校3年1組は、運動会で苦勞して獲得した応援賞杯と共に北部公民館を訪れました。応援賞を獲得して「本当に泣いちゃうくらい嬉しかった」思い等を一人一人が語りました。その後、男子は演舞を、女子はよさこいソーランを披露しました。会場全員で「ふるさと」を歌ってお別れの挨拶をしました。

参加者からは、地元の中学生の元気な表情とはつらつとした動きに、「若さを感じました。」という感想をいただきました。



“言葉と心を声にのせて”

昨年12月3日(土)、南流山センターで「第6回音読・朗読発表会」が行われ、市内11の小中学校から18グループ、合わせて250人を超える児童・生徒が参加しました。

「桃太郎」「朝のりレー」「オツベルと象」東日本大震災を題材にした「明日の自分を夢みて」など、それぞれのグループが日頃から練習を重ね、心を一つにして読み上げる声が響き渡りました。

ゲストとして出演した北部中学校出身の大学生・高校生合わせて4人で構成した「流星朗読会」は、大震災と原発事故を受けて作成された詩集「命が危ない311人詩集」から数編を取り上げ、語りかけました。

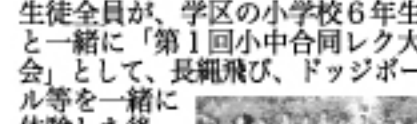
会を主催した「流山市子どもの読書推進の会」の伊藤基会長は、「回を重ねるごとに、発表会の内容が充実してきました。今日も、一生懸命に取り組む子どもたちの姿に感動しました。」と話されました。



南流山小、鱈ヶ崎小と南流山中の連携

2月3日(金)5、6時間目に、流山市で取り組んでいる小中連携の一環として南流山中学校校庭にて、南流山小、鱈ヶ崎小と南流山中の合同の体験学習を行いました。

南流山中の生徒全員が、学区の小学校6年生と一緒に「第1回小中合同レク大会」として、長縄飛び、ドッジボール等と一緒に体験した後、学級対抗で3分間で縄跳びを競い合いました。



「学力」「気力」「体力」の三つの柱

中学校柔道安全指導講習会

礼に始まり、礼に終わる！～安全な武道学習のために～

1月17日(火)と19日(木)の2日間 流山市内の中学校の保健体育を担当する先生方全員が、柔道の実技講習会を行いました。「武道の必修授業に備え、安全面に配慮した柔道指導をするためのポイント」というテーマのもと、講師に千葉大学教育学部附属中学校 渡辺冬花先生をお招きしての講習会でした。渡辺先生は、財団法人全日本柔道連盟「中学校武道必修化」対策チームメンバーの唯一の女性講師です。

来年度からの保健体育科での武道学習の必修化を前に、先生方は、柔道の準備運動から始め、安全に武道を学習させるための具体的なポイントを「言葉」と「動き」を運動させながら確認をしていました。

講習を受けた先生方は、「実践的な講習会であり、これからの授業にたいへん参考になった。」「武道に積極的に取り込む中で大切な礼法の実践を通して「他人を思いやる心」や「感謝の心」そして日本の伝統的な行動規範を身につけることも再度確認することができました。」などの感想を聞くことができました。今後も流山市として、さらに安全な武道指導のために講習会等を実施していく予定です。



学校体育研究会に向けて

1月23日(月)に、鱈ヶ崎小学校において、「体育」拡大大校内研究会が開催されました。平成24年度千葉県学校体育研究大会で、小学校会場に指定されています。市内の小中学校の先生方が参加し、研修主題「みんなとかかわり、生き生きと取り組む体育活動」のもと、2年、3年、5年の体育の授業が展開されました。コミュニケーション能力等を高めていけるよう、ゲームを多く採り入れ、「友達とかかわり、声かけ」を行うことに視点をあてた取り組みです。

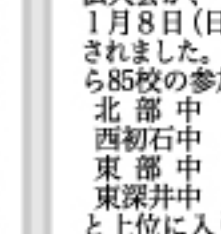


教職員対象 放射線の基礎講座開催!!

昨年11月25日(金)に「小・中学校の先生対象」に「放射線に関する研修会」を開催しました。小・中学校の理科担当教員他45名が参加しました。

講師の先生は、東京大学環境安全本部 准教授 飯本武志氏。今回の文部科学省が発行した「小・中・高学生のための放射線読本」の作成委員会において、編集に携われた先生でもあります。

今回は、小・中学校で読本を活用していくための、具体的な進め方のお話でした。受講者からは、「難しい言葉や内容をかみ砕いて話していただいた。」「日頃なぜ?と思っていたことがわかってすっきりした。」等の感想をいただきました。



“大健闘” 鉄子駅伝

第63回 中学校対抗 鉄子半島一周駅伝大会が、平成24年1月8日(日)に開催されました。県内外から85校の参加があり、北部中 第4位、西初石中 第8位、東部中 第12位、東深井中 第16位と上位に入り、昨年の第65回東葛飾駅伝に続いて、好成績を上げていました。

また、一区を走った北部中の島田匠海さんは、2位に大差をつけてのダントツのトップで、2区に棒をつなげました。

第14回東葛飾地方 家庭科・技術・家庭科作品展 開催のまとめ

平成24年1月20日(金)～22日(日)に、さわやかちば県民プラザを会場として、第14回東葛飾地方家庭科・技術・家庭科作品展が、開催されました。

3日間で1,448名の来場者がありました。小学校各3点、中学校各4点の合計697点の出品がありました。流山市からの参加された保護者の方からは「子どもの作品が展示してあると聞き、見に来ました。かわいらしい作品、アイデアあふれる作品、いろいろあって、見ていて楽しかったです。このようなものができるようになったのかと、少し感動しました。」という感想をいただきました。

